

2019年1月8日

株式会社カネカ

IR・広報部

インドネシアで加工油脂 新工場建設を決定
—インドネシアの旺盛な需要増に対応—

株式会社カネカ（本社：東京都港区、社長：角倉 護）は、グループ会社の PT. Kaneka Foods Indonesia（本社：インドネシア・カラワン県、社長：入江潤一、三菱商事株式会社との合弁会社、以下、KFI）で総額約 50 億円規模の加工油脂製品の新工場を建設することを決定しました。市場拡大が続くインドネシア共和国（以下、インドネシア）での製菓・製パン素材の事業拡大を目的として、フィリング製品及びマーガリンなどを中心に生産能力を約 5 倍の 15,000 トン／年に引き上げます。新工場建設は昨年 12 月に着工し、2020 年春の稼働を予定しています。

インドネシア及びアジア地域は人口増加とそれに伴う中間・高所得層の増加を背景として、製菓・製パン市場は拡大し、特にインドネシアはパン消費量が平均 5%/年増加するなど日本のパン食文化が広まっています。KFI は、2013 年の設立以来、現地嗜好にあった製品を開発するとともに、今までにない食感や製法でやわらかいパンを提案することで、事業を拡大してきました。

今後は、マーガリンなどの新製品の開発、拡販や、パンや菓子などの商品提案、顧客の製造サポートなど、顧客ニーズに合わせたソリューション提供を強化することで、事業展開を加速させます。また、アジア市場へ日本の美味しいパン・菓子文化を広め、早期に売上金額 100 億円を目指します。

以 上

<KFI の概要>

- 会社名 : PT. Kaneka Foods Indonesia
- 代表者 : 社長 入江潤一
- 資本金 : 624 億ルピア（日本円：約 5 億円）
- 所在地 : インドネシア共和国カラワン県
- 事業内容 : フィリング製品及び加工油脂製品を中心とした製菓・製パン素材の製造販売



新工場完成予想図